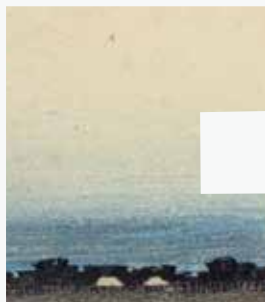


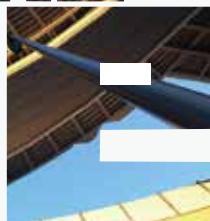
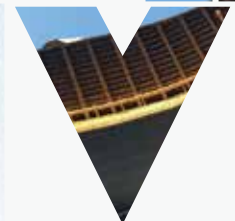
創

School of

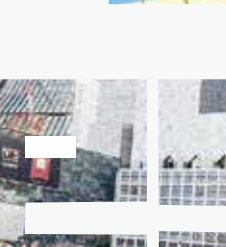
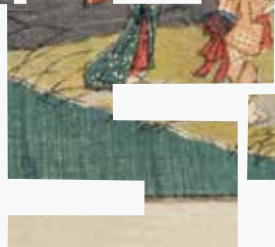


青山学院大学 総合文化政策学部

10



10



創設10周年記念事業
クロージングシンポジウム

総文のアイデンティティと「これからの10年」

第1部 「総文のアイデンティティ」をめぐって
杉浦勢之×間宮陽介×梅津順一 司会：中野昌宏

総合司会 鳥越けい子

開会の祈禱 森島豊

第2部 これからの10年
話題提供 総文の行方 茂牧人

パネルディスカッション 「これからの10年」に向けて

2008⇄2018⇄2028

2019 3/2 土

竹内孝宏×イヴォナ・メルクレイン×中野昌宏
モデレーター：小林康夫



14:00 - 16:30 (開場13:30) 青山学院アスタジオ地下ホール

参加無料

<http://10years.sccs.aoyama.ac.jp>



青山学院大学
総合文化政策学部(総文)の
教員が登壇します。

イヴォナ・メルクレイン

総文・准教授。研究分野：メディアとスポーツ、メディアとジェンダー、日本近現代史。東京オリンピックの歴史(1964年)、女子バレーボールのメディア表象に関する論文公開(Merklejn 2013, 2014)。Handbook of Japanese Mediaで東京オリンピック論を担当(Fabienne Darling-Wolff編, Routledge, 2018)。

梅津順一

青山学院前院長。総文・教授。国際基督教大学教養学部卒。東京大学大学院経済学研究科博士課程任期満了退学。東京大学より経済学博士号取得。著作：『近代経済人の宗教的根源』(みずす書房)ほか。

小林康夫

東京大学総合文化研究科教授を経て2015年より総文・特任教授。1950年生れ。東京大学大学院人文科学研究科、バリ第X大学ナンテル(テキスト記号学科)卒。専門は、現代哲学／表象文化論／芸術論。著書に『表象文化論講義 絵画の冒険』(東京大学出版会)、『オペラ戦後文化論 1 肉体の暗き運命1945-1970』(未來社)、『君自身の哲学へ』(大和書房)、『こころのアポリア』(羽鳥書店)など。

茂牧人

総文・学部長・教授。上智大学文学部哲学科卒。上智大学大学院哲学研究科博士前期課程修了。博士後期課程単位取得退学。京都大学大学院文学研究科文化・思想学専攻より博士号取得。京都大学博士(文学)。研究分野は、近・現代ドイツ哲学、宗教哲学。著作：『ハイデガーと神学』(知泉書館)。

杉浦勢之

青山学院大学経済学部卒業、名古屋大学大学院経済学研究科博士課程満期修了退学。青山学院大学経済学部教授を経て、総合文化政策学部設立と同時に移籍。青山学院大学副学長、総合文化政策学部学部長を歴任。ACL所長。日本経済史(共同体論・現代財政金融史)を専門とするが、現在はICTを通じた人類史の変革の研究に転進中。共著書『日本企業システムの戦後史』(東京大学出版会)、『資本主義はどこに行くのかー20世紀資本主義の終焉』(東京大学出版会)、『金融危機と革新』(日本経済評論社)、『東京証券取引所50年史』(東京証券取引所)、『青山文化研究』(宣伝会議)他。

竹内孝宏

総文・教授。表象文化論。学と芸が一致する奇跡の瞬間を待望しつつ、数年前から「都市下位文化としての大衆演劇」という命題にほとんど取り憑かれ、残された人生をすべてこれに捧げる決意を固めたところ。本学部には2008年の創設と同時にオープニングスタッフとして着任。

登壇者プロフィール

総文のアイデンティティと「これからの10年」

中野昌宏

総文・教授。京都大学大学院人間・環境学研究科修了。京都大学博士(人間・環境学)。社会思想史を起点に哲学、精神分析理論、認知心理学なども研究。近年は日本国憲法の成立過程の研究に集中している。著書『貨幣と精神——生成する構造の謎』(ナカニシヤ出版)ほか。

間宮陽介

総文・特任教授。専攻は社会経済学。現在は公共空間論を主たる研究領域に定めている。研究上のモットーは「あらゆることについて何かを知り、何かについてあらゆることを知る」。著書『モラル・サイエンスとしての経済学』『ケインズとハイエク』『法人企業と現代資本主義』『丸山眞男を読む』『市場社会の思想史』など。

森島豊

総文・准教授・大学宗教主任。キリスト教神学思想史、人権思想史、キリスト教と文化。著書に『フォーサイス神学の構造原理』(新教出版社、2010年)、『人権思想とキリスト教』(教文館、2016年)ほか。「キリスト教人権思想の日本国憲法への影響」で中外日報社『涙骨賞』最優秀賞受賞(2015年)。

「総文」創設10周年

青山学院大学総合文化政策学部(総文)は、2018年4月に創設10周年を迎えたことを記念し、今年度の1年間にわたり「総文とは何か?」を確認・共有・発信するため各種のイベントを展開してきました。締めくくりとなるクロージングシンポジウムでは、「総文のアイデンティティと「これからの10年」」をテーマに開催します。

青山学院アスタジオ

東京都渋谷区神宮前5-47-11
東京メトロ表参道駅B2出口より徒歩5分。
青山通りを渋谷方向へ。Found MUJIを右折。
直進し左手の4階建てのビル。



主催：青山学院大学総合文化政策学会
(東京都渋谷区渋谷4-4-25 青山学院大学総合文化政策学部合同研究室内)
※本イベントでの録音・撮影およびこれらの発信・掲載は、許可を得た者に限ります。



同日開催

総文創設10周年
祝賀会

終了後は、総文関係者が一堂に会して祝賀会を開催します。10周年事業の振り返り、OBOGによるスピーチを交え、新旧を含めた交流の機会としますので、是非、ご参加ください!

日時：3月2日(土) 17:00-19:00

会場：青学会館・ミルトス

参加費：3,000円(定員制・要申込み)

お申込み先：下記10周年記念サイト

<http://10years.sccs.aoyama.ac.jp>